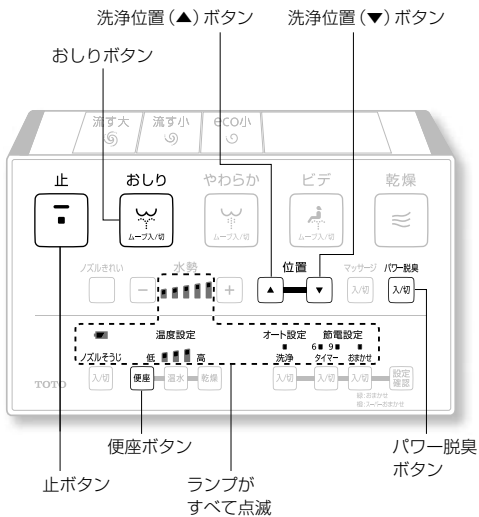


設定を変える

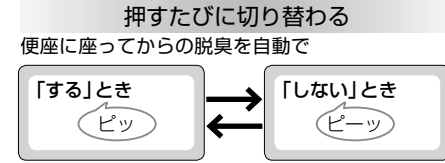
1 止
リモコンランプ
すべてが点滅するまで、押す
(約10秒)



せいけつ

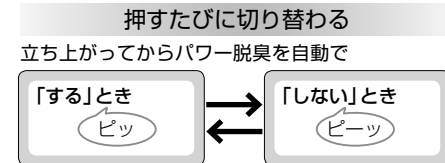
便座に座ってからの脱臭を自動で
する/しない
脱臭

2 パワー脱臭
入切
押す



立ち上がってからパワー脱臭を自動で
する/しない
オートパワー脱臭

2 便座
押す

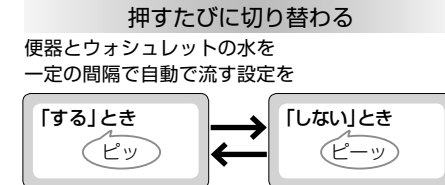


3 止
押す
<設定完了>

その他設定

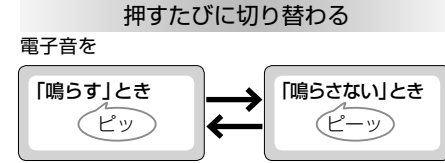
便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す
凍結防止

2 位置
▲
押す



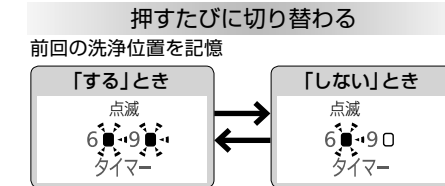
電子音を
鳴らす/鳴らさない
電子音※1

2 おしり
ムーフ入切
押す



前回の洗浄位置を記憶
する/しない
ノズル洗浄位置の記憶

2 位置
▼
押す



3 止
押す
<設定完了>

※1 各設定を変更するときは、電子音を「鳴らす」に設定しておいてください。

必要なとき

こんなときは 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.34)を「切」にしてください。

流動方式

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた (P.36)

・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

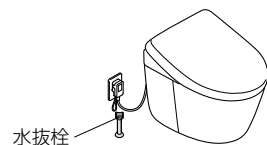


ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 ノズルきれい を押す

(給水管の圧抜き)

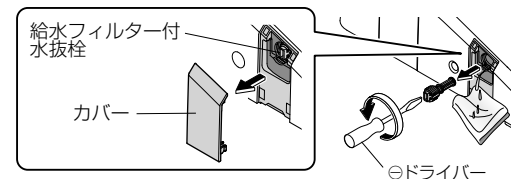
3 電源プラグを抜く

ヒーター付便器・水抜併用方式

4 配管の水を抜く

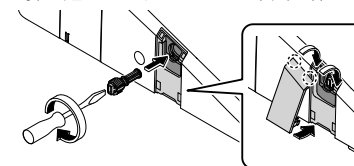
①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす

- ・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る



②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

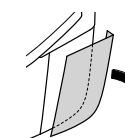
- ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



5 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

6 すっきりパネル(右)を取りはずす



7 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

8 便座温度を「高」にする (P.18)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを開けておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.46)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。



こんなときは 長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。



(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)
(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.26) で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 ■流動方式のとき
止水栓または元栓を閉める(P.4)
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める(P.44手順①)
お願い
・止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2  を押してタンクの水を抜く
- 3 ノズルきれい  を押す (給水管の圧抜き)
- 4 電源プラグを抜く
- 5 配管の水を抜く (P.45 手順④)
- 6 水抜きレバーを引き出す
・ノズル付近から水が出る (約20秒)
- 7 手を離し、水抜きレバーを元に戻す
- 8 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ
便器内のタンクの水を抜く
・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける、または、水抜栓を操作して、給水する
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2 電源プラグを抜いているときは
電源プラグをコンセントに差し込む
・「運転」ランプが点灯する
- 3 ①ノズルから水を出す
(1) 便座の左側を押したまま、
(2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
(3) リモコンの「止」ボタンを押す
②  を押す
・便器に水を流しながらタンクに給水します。ウォシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります(最大約80秒)。
※給水が完了するまで便器洗浄できません。タンク給水中はすべての操作をしないでください。
■残水が凍結して水が出ないとき
・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
- 4 便器に水がたまってから、もう一度  を押す



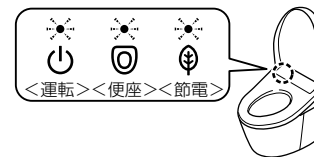
故障かな?と思ったら

まず、P.47～52の処置方法をお試しください。

それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTO メンテナンス(株) 修理受付センターにご相談ください。

次の場合は電源プラグを抜いて、TOTO メンテナンス(株) 修理受付センターへ連絡してください。

- 運転、便座、節電ランプが点滅している



- 電子音が止まらない

注意

! 水漏れが起きたら、止水栓を閉める

<床給水・壁給水の場合>

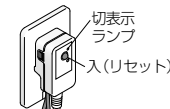


(壁排水リモデルの場合 →P.4)

まず、ご確認ください

運転ランプが点灯していますか?

- 電源プラグの切表示ランプが点灯していませんか?
→「入(リセット)」ボタンを押す(ランプ消灯)



- 「運転」ランプが点滅していませんか?
→「凍結防止」設定が「入」になっています。(P.36、44)


- 配電盤のブレーカーが入っていますか?
→停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する



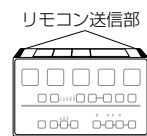
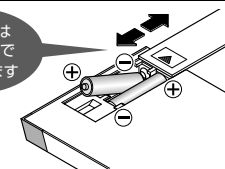
節電ランプが点灯していませんか?

- 点灯中は節電中(P.20)のため、便座の温度を下げたり便座ヒーターを切ったりしています。

リモコンで動きますか?

- リモコンの「

リモコンは乾電池で動いています



必要なとき